



JA HIROSHIMASHI

GUIDE BOOK 2020

JA広島市は、食と農の架け橋となり 彩りと安心を地域に届けます。

経営理念

JA広島市は、農業と生活設計におけるアドバイスとサポートという事業を通じ、地域の暮らしに確かさと彩りをつくります。

経営方針

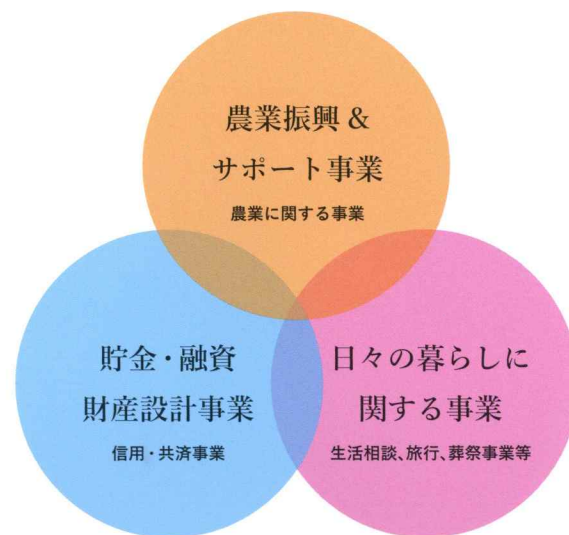
- 地域農業の持続的発展と農業を通じた環境保全に取り組みます。
- 心豊かで健康な暮らしと活力ある地域社会づくりに貢献します。
- 経営基盤の一層の強化と健全性の向上に取り組みます。

JA広島市の事業

JA広島市は、農業に関する事業だけでなく、信用・共済事業や生活相談、旅行、葬祭事業など多彩な“総合事業”を展開しています。

- 組合員や地域のみなさまのさまざまな生活のニーズに応えるため、JA広島市の各事業を連携させ、地域密着型の質の高いサービスを提供。
- 幅広い事業活動を通して、地域の環境や文化、福祉などさまざまな分野への社会貢献を实践。
- 安心して暮らせる豊かな地域社会づくりのため、JA広島市が中心となり「人の輪」を広げる活動を進め、地域の暮らしに確かさと彩りを築く。

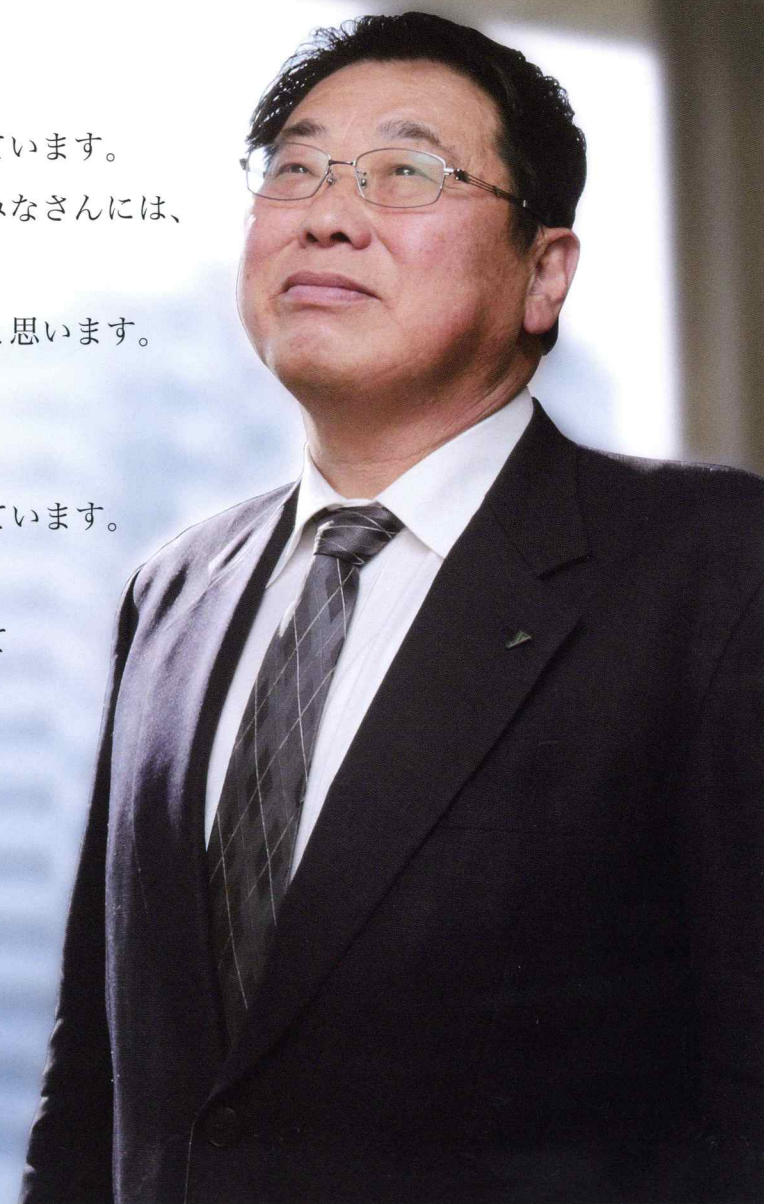
それが私たちの使命です。



JA広島市の未来を 一緒に創造しよう

JA広島市は、さまざまな事業を展開しています。これから社会へ羽ばたくみなさんには、活躍できる場を発見して人として成長してほしいと思います。将来、結婚や出産などで休職されたとしても、復帰しやすい環境も整えています。時代の変化に対応し、これからのJAを改革していくのはみなさんです。若い力に期待しています。

広島市農業協同組合
代表理事組合長
吉川 清二
SEIJI KIKKAWA



JAは相互扶助の協同組合です



JAとは、農業生産をしている農家を中心となって組織され、人々が連帯し、助け合うことを意味する「相互扶助の精神」のもとに、農家組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的としてつくられた協同組合です。

JAは組合員の生活を守り、向上させることが目的です



JAは協同組合という組織です。株式会社との一番の違いは、協同組合はあくまで組合員の生活を守り向上させることが目的で、利潤の追求だけではないこと。150年以上前に誕生した協同組合の人間平等主義の伝統が今も息づいています。

「JA」は農業協同組合のニックネームです



JAとはJapan Agricultural Cooperatives。つまり、日本の農業協同組合という意味で、JAは最初の2つの頭文字をとったものです。より多くの人に親んでもらうために、「JA」というニックネーム(愛称)がつけました。

JAの組合員は2種類あります



「正組合員」は農業を仕事にされている人(団体)、「准組合員」は農業以外の仕事をされている人でJAに出資金を支払い手続きをすることで組合員となります。なお、組合員でない人も一定の範囲内でJAの事業や施設を利用することができます。

組合員と准組合員の推移 ※各年度末の集計による(2019年のみ12月末)



全国に604JAある中で、JA広島市の組合員数は、全国5番目。正組合員のみでは、全国50番目。准組合員のみでは、全国2番目。(2018年度事業年度末実績)

JA広島市管内の代表する特産品



JA広島市管内ではさまざまな農畜産物が生産されています。なかでも安佐南区川内地区の広島菜をはじめ、管内産のトマト、コマツナ、ホウレンソウなどは、特産品として知られています。



農業振興 & サポート事業

1 地域農業の振興と農家組合員の生産を支えます 営農指導事業

各地区を担当する営農指導員が、農業についてのさまざまな問い合わせや相談に対してアドバイスや指導を行い、地域農業の振興と農家組合員の生産を支える活動を行っています。

2 地域特性を活かした農畜産物を販売します 販売事業

消費地と生産地、温暖地と冷涼地が併存する広域JAの特性を活かし、安全・安心な農畜産物の市場への共同販売や、量販店や産直市での直接販売など、さまざまなスタイルの流通を手がけています。また、少量多品目の生産農家に対しては、直営ファーマーズマーケットや直売所、朝市、出荷の自由度の高いインショップ等の多様な販路を提供し、農業所得の向上に取り組んでいます。

3 広島の冬の味覚を代表する特産品である広島菜漬を加工しています 広島菜漬事業

広島菜の最大の栽培地である安佐南区川内地区に立地する広島菜漬センター。安佐南区の契約栽培農家から原菜が持ち込まれ、昔ながらの製法で丹念に漬け込みを行っています。



4 広島市のシェア約20%の鶏卵事業 鶏卵事業

JA広島市が取り扱う鶏卵は、広島市のシェアの約20%を占めており、広島県の『安心! 広島ブランド』の認証を受けています。

5 農業に関わる資材や生活物資を提供します 購買事業

農業に必要な資材や製品の販売、農機具の修理・整備などを行っています。また、管内特産品や米、加工食品、酒などの飲食物品をはじめ、生活に欠かせない日用品も販売しています。

まずは、農家さんと強い信頼関係を築くことが大切です



緑井支店
(川内駐在)
営農指導員
専門担当課長
中植 俊明
(2000年入協)
営農指導

農家さんから 真っ先に相談される人になる

実家が農家で、子どもの時から親の農作業を手伝っていました。そんな経験も影響してJAに就職し、しばらく販売の方に携わっていましたが、営農指導の部署に変わって6年になります。普段はお米の検査をしたり圃場をまわっての技術サポートなどが業務になります。特に川内地区は広島菜の主産地で、みなさんの広島菜にかける思いがとて熱く、農家さん同士が日々、切磋琢磨されているのを間近で見て、私もみなさんの力になりたいという思いが強く湧いてきます。今の仕事でいちばん大切にしているのは「農作物に何か起きたとき、真っ先に私に知らせてもらえる関係になっている」ということです。農家さんと一緒に問題を解決していくことで、農家さんと共に成長できると感じています。

8:30	9:00	12:00	13:00	17:10
朝礼	巡回	昼食	巡回 講演会の資料づくり 事務処理	運動

地域農業を支える力になりたい。

安定した買取で 生産者を支援

営農経済部 販売課
大町青果物流センター 課長代理
松島 克郎 (1998年入協)



青果物流センター

渉外係などさまざまな職種を経て、2年前に大町青果物流センターに配属されました。ここは管内から農作物を集め、スーパーなど量販店に販売する仲卸的な業務を行っています。農作物は自然が相手ですから予定通りに収穫できない等、臨機応変に対応しなくてはいけないので大変です。ただ、渉外係をしていた時、農家さんを回って直接いろいろな話をしてきたので、その経験は今の仕事に、確実に生きています。

地域の宝、 広島菜を守り伝える

営農経済部 販売課
広島菜漬センター 総所長
吉田 耕司 (1995年入協)



広島菜漬センター

入協してからいろいろな部署を経験して、何度か転職したような感じがします。ここではセンターの統括管理が仕事で、広島菜漬の加工・販売、バイヤーとの交渉、パッケージデザイン、労務管理、配送など、業務は本当に多岐にわたっています。広島菜漬は「広島」と名のつく数少ない名産品です。機械化が難しい、手作業の多い加工品ですが、その分おいしく仕上がります。いま、広島菜漬のさまざまな技術を先輩方から習得中で、引き継がれてきた伝統を全力で守っていきたくと思っています。



貯金・融資・財産設計事業

1 貯金、融資、為替などの金融事業です 信用事業

JA広島市では独自の貯蓄商品、融資商品を各種豊富にラインナップ。「貯める」「借りる」「使う」といった、生活での金融に関わるシーンに応じて、組合員・地域のみなさまそれぞれに最適な資金計画を提案、アドバイスしています。

【貯金事業】

総合事業を活かし「農」と関連した商品、金利上乘せ商品等を発売し、貯蓄商品の提案を通じて、組合員の資金計画をサポートしています。またJA広島市の口座を、日々の暮らしの中心としてご利用いただくために、給与受取や公共料金自動引き落としなどのご提案をしています。

【ローン事業】

農業融資、住宅購入やリフォーム、借り換えなど、組合員の大きな夢の実現に向けた資金計画のお手伝いをしています。また、他にもマイカーローン、教育ローンなど暮らしに密接な各種ローンも取り扱っています。

2 安心して暮らせる毎日を守ります 共済事業

人生のさまざまな場面で、また一生を通じて、安心の保障で幸せな暮らしをサポートする共済事業。「ひと」「いえ」「くるま」に関わる『もしも』の際のトラブルを保障し、契約者本人はもちろん、ご家族にも配慮した大きな安心を届けています。

3 資産運用や財産設計、次世代への承継を専門的にアドバイスします 総合相談事業

組合員・地域のみなさまの大切な資産の保全管理や有効活用、また次世代への承継や相続対策など、暮らし全般の相談に応じています。また、税金、法律、年金といったより専門性の高い相談については専門職員のほか、弁護士や税理士、不動産鑑定士などの専門家と連携して問題の解決をお手伝いします。

仕事と家庭を両立している先輩も多く何でも相談しやすい職場です



五日市中央支店
窓口係
神野 美紗
(2014年入協)
窓口

他の金融機関にはない 地域の方と親密になれる

窓口系の業務は、入金や口座開設、一般の保険にあたる共済など、どれも専門的です。しかし、研修を通して知識を身につける機会がありますし、新人1年目には必ずサポートがつきますので安心してください。私も最初は分からないことばかりだったので、教わったことをメモし、オリジナルのマニュアルを作って仕事を覚えていきました。私は入協して6年目になりますが、その間、結婚・出産を経て職場に復帰しました。この支店は働くお母さんや、子どもの年齢の近い方も多く、育児休暇も取りやすいです。もともと接客が好きで、生まれ育った広島に貢献したい、地域の力になりたいと思ってJAに就職したので、支店のお祭りなど地域のみなさんとのおふれあいは楽しみです。こんなことは他の金融機関ではきっと経験できないと思います。

8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	17:10
出庫 準備 開始	窓口業務	昼食	窓口業務	現金・伝票の精算 事務処理 翌日準備	退勤

地域のみなさまの資産を守り活用してゆく。

地域のみなさまと 近いところで 仕事をしたかった

観音支店 渉外係
竹崎 光希 (2015年入協)



渉外

広島で就職したいと思い、利用者のみなさんと近いところで仕事のできるJA広島市への就職を決めました。現在の渉外係の仕事は集金業務のほか、定期貯金や各種ローン、共済の推進など、1日に約15軒ほどお客様のお宅に訪問します。この仕事はまずお客様と信頼関係を築くことが大切です。訪問して顔を合わせて話をする。こうした中でお客様の人生設計に携わることもできてやりがいを感じます。職場の上司は職場を明るい雰囲気にし、私たち部下をよくサポートして下さるのでとても心強いです。

地域との結びつきを より一層深めたい

小河原支店 支店長
山本 哲男 (1996年入協)



支店長

小河原支店は、地域との結びつきが非常に強い支店です。支店の3階部分が町民センターになっていることもあり、地域の方にとって「自分たちのJA」と思っているようです。私は支店長になって3年目になりますが、心がけているのは職員同士が何でも話せる風通しのよい職場づくりです。職場の活気はきっと地域の方々に通じるのだと信じています。若い職員は失敗をすることもありますが、その経験は必ず成長につながります。私も、若い頃は上司に助けられてきたので、失敗を恐れず前に進んでほしいです。



日々の暮らしに関する事業



安心や生きがいづくりをお手伝い。

1 組合員とJAがともに取り組み活動をしています 支店を拠点とした事業・協同活動

支店ふれあい活動として、ふれあい旅行や夜市の開催、支店広報紙の発刊、また、地域の行事に参加するなど組合員や地域とつながる活動に取り組んでいます。

2 もしもの時にご遺族をサポートします 葬祭事業

葬儀全般について365日、24時間体制で対応。「安心・親切」を基本に、ご遺族に寄り添うサービスを提供しています。

3 安心して任せられる旅行をプロデュースします 旅行事業

家族旅行からグループ旅行、団体旅行、JR券、宿泊券など必要なチケットを1枚から手配。国内外の楽しい旅を演出します。

JAのファンづくりに 日々奔走しています

生活事業部 地域ふれあい課
課長
加藤 尚子 (2001年入協)



地域ふれあい課

組合員さんをはじめ、地域みなさんにJAのファンになっていただくためにさまざまな活動を行っています。組合員の女性で組織する「レディースクラブ」の活動のサポートや、地産地消クッキング教室、農業祭のお手伝いなどです。多くの方との出会いがあり、人の輪が広がっていく、まさに人と人がふれあう課。さまざまな可能性を秘めた仕事なので、チャンスを逃さずたくさん経験をしたと思っています。

8:30-9:00	12:00-13:00	17:10
朝礼 外回りなど	昼食	デスクワーク 催しの準備ほか
		退勤

ひとがJAをつくる。だからJAはひとをつくる。

JA 広島市の人材育成

Point 1 高みをめざす研修制度

【自己啓発研修】

JA広島市では、自ら成長する意思を持ち、自己啓発を行う職員への積極的な支援を行っています。学習するきっかけを提供し、意欲ある人のチャレンジをサポート。幅広い業務に携わるうえで必要な知識を習得するための研修を実施し、職員のキャリアアップを支援します。また、資格取得を奨励し、対象となる資格試験については合格者への受験料を助成するなど、組織全体で自己啓発の意識づくりを醸成しています。

【新入職員研修】

新入職員に対しては、入協後は3カ月にわたり新入職員研修を実施します。ここではJA広島市の職員として必要となる基礎知識の習得や、社会人としての心構えや接客対応を習得するマナー研修を行い、組合員・利用者の満足度を高める力を養成。支店での実務に向け、事務・事業推進の研修、農業実践研修、農産物の対面販売研修などの経験を積み、働くことの意味、仕事を通じて成長する過程も学んでいただきます。



Point 2 成果に応える人事評価

JA広島市では「成果貢献主義人事制度」を導入。年齢や経験年数に拘らず、職員の意欲や能力を公正に評価し、成果にふさわしい処遇に応えます。また、仕事に対する考え方や希望、スキルを把握し、能力開発などを目的とした「自主申告制度」を採用するなど、自己啓発の促進や職場風土の改善に取り組んでいます。

Point 3 がんばる若者を支援

2018年度から導入!

入協後、3年、6年、9年、12年、15年の節目の年に、奨学金を返済しながら働く職員や、スキルアップのための通信教育、資格の取得にチャレンジする職員を、2018年から導入した「がんばる若者」支援制度でバックアップしています。

Point 4 感謝の勤続表彰制度

勤続10年になると職員の永年の功績に対する勤続表彰を用意しています。さらに勤続20年目以降は、5年ごとに表彰を実施。名誉ある勤続50年表彰を受けることも可能です。

子育てしながら活躍できる職場です



広島市男女共同参画
表彰事業者

仕事と、育児などの家庭生活が両立できる環境を整えることは、性別に関わらず意欲ある職員が能力を発揮し、公私とも充実して働き続けるうえでワークライフバランスは大変重要であると考えます。特にJA広島市の女性職員は出産後、育児休業を取得し復帰するケースが多く、育児支援制度の整備や周知、休業中および復帰時のフォローを組織ぐるみで行ってまいりました。こうした取り組みが評価されJA広島市は2010年、広島市から「男女共同参画推進事業所」「子育てにやさしい事業所」として表彰されています。

産休・育児後の復帰率

100%

職員の男女比

女性職員 460名 男性職員 542名

「順繰り」を 次世代にもつなげたい

牛田支店 支店長
木村 洋子 (1995年入協)



支店長

二人の子育て中、「そんなのは順繰りだから、気にせず子どもについてあげて」という先輩の言葉に私は救われました。子どもが突然熱を出したり病気が長引いたり、職場に迷惑がかかってしまうと悩んでいるときでした。「自分がその立場になったとき、今度は他の人にそうしてあげればいいのだ」と思いました。仕事と子育てが両立できたのは、家族の協力はもちろんですが、こうした職場の環境が大きかったです。JA広島市にはそういう風土が根づいており、女性が働きやすい職場だと思います。

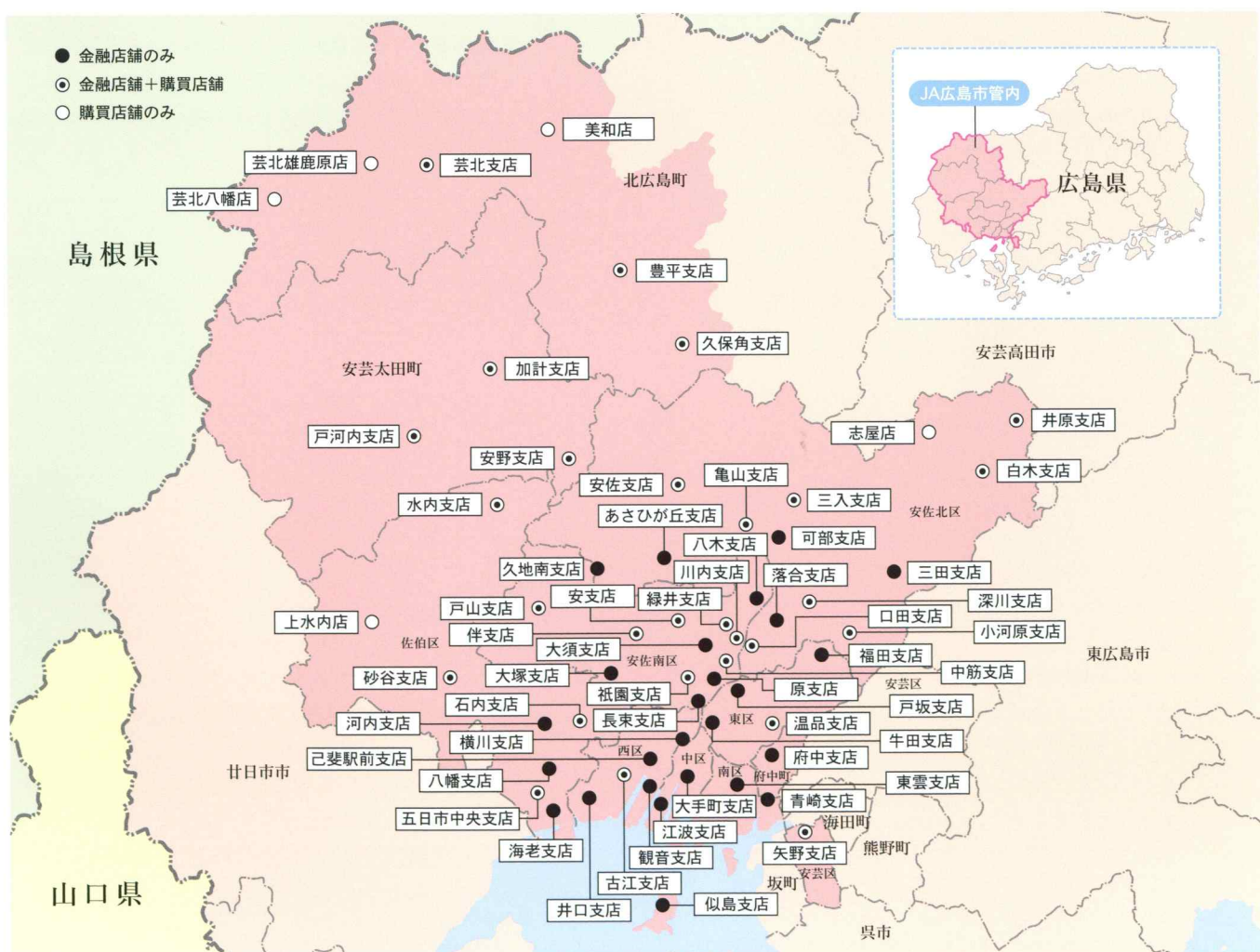
組織概要 (2019年12月末現在)

設立	1993年4月1日(広島市域の8つのJAが合併し、新生JA広島市が誕生)
代表理事組合長	吉川 清二
組合員数	116,984名(正15,396名、准101,588名)
職員数	1,002名
正職員	695名(男442名、女253名)
嘱託・臨時雇職員	307名(男100名、女207名)
※正職員平均年齢	…41歳(男43歳、女39歳)(2020年2月現在)
出資金	93億44百万円
自己資本比率	10.38%(2019年3月末現在)
貯金残高	6095億円
貸付金残高	1386億円
長期共済保有高	1兆1646億円
購買品供給高	30億83百万円
販売品取扱高	29億98百万円
事業内容	営農指導、信用、共済(保険)、販売、購買、総合相談、旅行、葬祭、養鶏鶏卵、農機車輛、広島菜漬

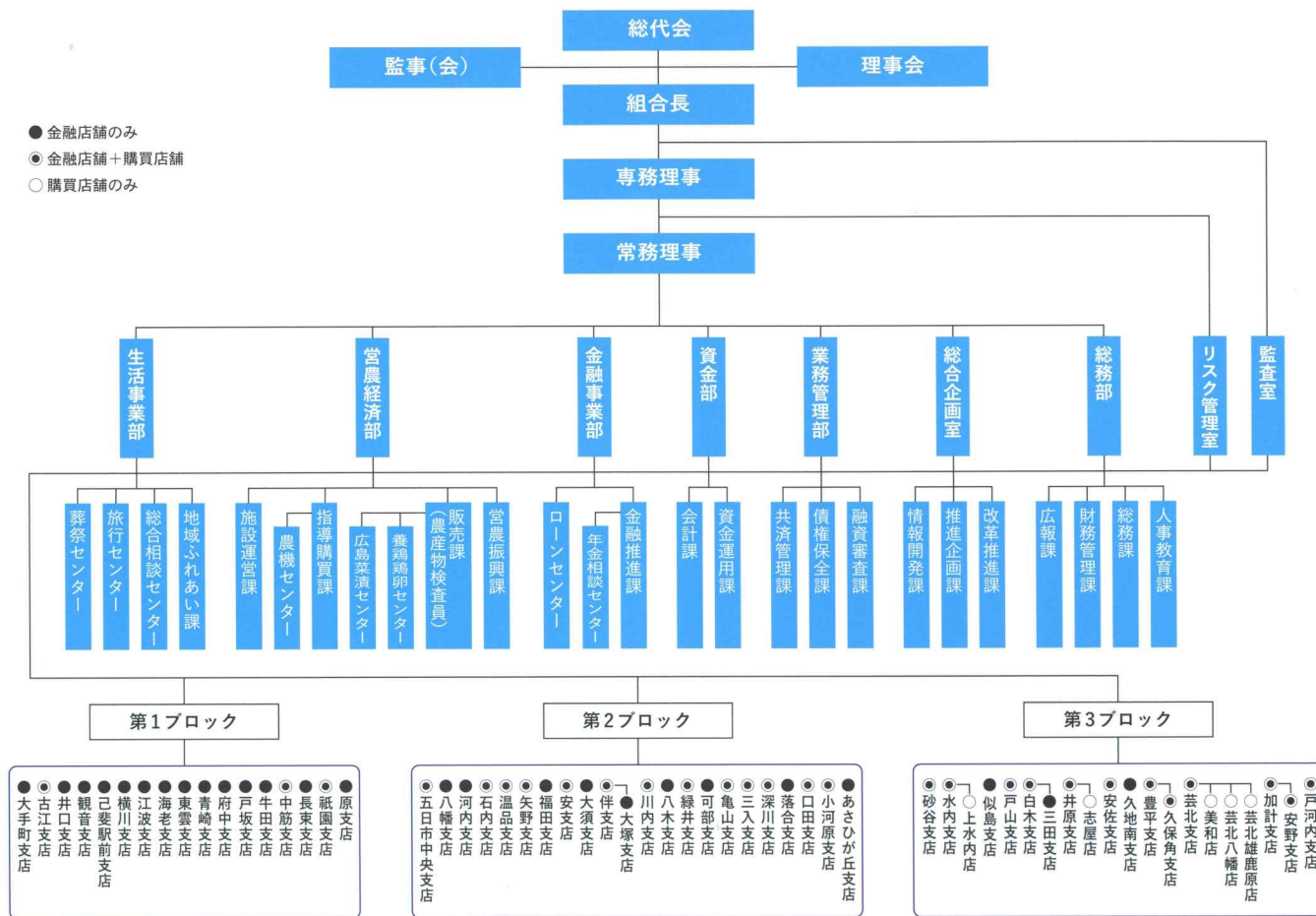
採用情報

勤務地	広島市※1、府中町、安芸太田町、北広島町※2、三次市青河町601・北広島町本地(養鶏鶏卵センター) ※1=安芸区阿戸、瀬野、中野、畑賀、船越の各地区を除く ※2=千代田地区、大朝地区を除く
勤務時間	8:30~17:10
休日	完全週休2日制(土曜、日曜)、祝日、年末年始
休暇	年次有給(最大40日)、リフレッシュ(連続5日)、産前産後、育児、介護、ボランティア、慶弔
福利厚生	各種社会保険(厚生年金、健康、雇用、労災) 厚生資金融資制度(住宅資金、生活資金) “がんばる若者”支援制度、永年勤続表彰制度 広島東洋カープ、サンフレッチェ広島の年間指定席保有、ドラゴンフライズ広島の2階自由席引換券保有
教育研修	新入職員研修、職務職能別研修、選択型研修、配属部署でのOJTなど
クラブ活動	野球部、サッカー部、バレー部

ネットワーク



機構図 (2019年7月1日現在)



JA広島市の地域貢献活動



レディースクラブ
「自己を磨き、地域に貢献すること」を目的に、約4,700名の女性会員が多彩な活動をしています。



JA YOUTH 広島市
担い手農業従事者で結成。会員間の交流や技能研鑽のほか、小中学校の農業体験学習を受け入れています。



生き生き「え〜のう」塾
北広島町より管理を委託されている「豊平研修センター」を活用し、担い手育成に取り組んでいます。



農業祭
実りの秋に、JA広島市管内の各地で開催。農産物の品評会や直売などを通じて地域とふれあいます。



各種セミナー・相談会
地域の方々がお心豊かで健康的な生活が送れるよう、各支店ではさまざまなセミナーを開催しています。



食農教育
子どもたちが食や農、地域、自然の大切さを理解し、命の尊さなどを学ぶ食農教育活動を実施しています。



職場体験受け入れ
大学生のインターンシップを始め、小学生・中学生・高校生の職場体験を受け入れています。



JA広島市のキャラクター
メインキャラクターの「ふたばん」をはじめ、「どーじょー」「ミミー」「キューピーハッチ」「ハートレター」がJA広島市を盛り上げます。



広島市農業協同組合

〒731-0122 広島市安佐南区中筋 3-26-16
TEL 082-831-5500
<https://www.ja-hiroshimashi.or.jp>



2020年2月作成

採用スケジュール

① 応募書類の受付

以下の書類を郵送してください。

《送付書類》 ①エントリーシート

所定の書式を [マイナビ2021](#) のJA広島市のページ、またはJA広島市のホームページからダウンロードし、使用してください。（令和2年3月1日以降ダウンロードが可能です）

②履歴書（様式自由）

《受付期間》 令和2年3月1日（日）～5月22日（金） 当日消印有効

《送付先》 〒731-0122 広島市安佐南区中筋3-26-16

広島市農業協同組合 総務部 人事教育課 採用担当 宛

② 面接 令和2年6月1日（月）～6月中旬 会場：JA広島市本店

令和2年6月以降、応募書類を提出された方全員と面接いたします。

日時のご予約については、[マイナビ2021](#) のJA広島市のページよりご登録を予定しています。

③ 筆記試験 令和2年6月上旬 10時～11時30分（予定） 会場：JA広島市本店

一般教養を問うマーク式の問題、および適性検査を予定しています。

④ 集団面接 令和2年6月中旬～ 会場：JA広島市本店

数回の集団面接を予定しています。



JA広島市就職セミナー

●令和2年4月12日（日） ①9:30～ ②13:30～

会場：JA広島市本店 定員：各100名

●令和2年4月19日（日） ①9:30～ ②13:30～

会場：JA広島市本店 定員：各100名

【参加方法】 [マイナビ2021](#) でご予約ください。

令和2年2月27日（木）から受付開始です。